

# お知らせ

## 募集 ◆周作クラブ・オンラインセミナー (新設)へのお誘い

コロナウイルス感染症が拡大し、周作クラブのイベントも新年会や遠藤文学原典の旅など、実現の予定が立たない昨今の状況です。

そこで、あらたにオンラインによるイベントを、たとえば地区別に行なってみたくと思っています。参加が可能な方は、周作クラブのメールアドレス、Shusaku\_club@yahoo.co.jp までお知らせください。その人数によって、実施の規模を考えたいと思います。多くの方々からのご送信をお待ちしています。

## ◆町田市民文学館ことばらんど

20×20 原稿用紙&ニコニコ絵本 原画展 (3月28日まで)

観覧時間…10時～17時

観覧料…無料

休館日…毎週月曜日、第2木曜日

作家たちのこだわりが詰まった原稿用紙、自筆原稿の数々をご紹介します。遠藤先生の資料としては、筆記具と今年度新たに収蔵した『喜劇新四谷怪談』の生原稿を出品しています。その他、白洲正子ら町田ゆかりの作家の原稿も出品していますので、この機会に様々な自筆原稿から、作家の人となりを想像してみたいかがでしょうか。問合せ先 ☎042・739・3420

町田市民文学館ことばらんど (東京都町田市原町田4の16の17)

JR横浜線「町田駅」から徒歩8分

小田急線「町田駅」東口から徒歩12分

## ◆遠藤周作没後25年

遠藤周作の「おどけと哀しみ」を読む

講座名 「文章で表現する技術」

講師 加藤宗哉

日時 全3回

4月9日(金)、5月14日(金)、6月11日(金) すべて13時～14時30分

会場 朝日カルチャーセンター新宿

受講料 会員10395円

一般13695円

申込先 朝日カルチャーセンター新宿

☎03・3344・1945

※東京都新宿区西新宿2の6の1 新宿住友ビル10階。最寄り駅は都営大江戸線「都庁前」駅、もしくはJR「新宿」駅西口。

## ◆新年特別福引きの当選者の方々

ら、嬉しいメッセージが来ました。ここに掲載させていただきます。

☆ビックリ！実はちよつと悲しい出来事があったて心ふさいでいた矢先まさにビッグサプライズです。名前の発表了解です。知人の目にとまって羨ましがられるかも知れませんが、私は2004年、五島、長崎、

ネ。私は2004年、五島、長崎、海外巡礼に一緒させていただきましたが、あの時は夕陽を眺めることは出来ませんでした。いつか……と希望の一つにしています。

田中美智恵 (東久留米市)

☆この度は、思いがけなく素晴らしいプレゼントを頂戴して、驚きかつ喜んでいきます。『影に対して』は昨年Amazonで、予約してあり発売と同

時に入手していましたが、今回は直筆原稿のコピーを共にご贈呈いただき感激しています。私が高校三年生のとき南山大学の大学生であった姉の机上にあった『沈黙』を拝借したのが遠藤先生との出会いでした。もう一冊は、姉に届けます。本当に有難うございます。

小林千三 (津市)

☆この度は、新年早々嬉しいプレゼントをありがとうございます。この元旦は近所の神社へ初詣へ、そこで引いたおみくじは「半凶」で、!?

見たことも聞いたことも無いおみくじでした。おみくじで驚きましたが、今回の周作クラブの福引きに大当たり！今年も早くも二度ビックリです。今年も私も六度目の年女です。早速良い

年になりました。これからのいたいた冊子でゆつくりと遠藤ワールドを楽しませていただきます。本当にありがとうございます。皆々様のご健康とご活躍を、愛と感謝を込めてお祈りしております。

伊藤梨紗 (藤沢市)

☆本日、「新年の福引」当選の『影に対して』が届きました。ビックリしました。とつてもうれしいです！お母さまとの確執、興味がありません。ですが、私何もお役に立っていないのに、いたたいちやうていいのではありません。すみません、ありがたいたたきます。今年も皆さんで集えるように努めます。企画も普通に行うことができます。高木香織 (東京都北区)

高木香織 (東京都北区)

## ＊編集後記＊

▼お正月以来、ボカボカした春のような日が続いていますが、いよいよ本物の春間近となりました。梅と一緒に桃の花が咲きそうです。桜にはまだ間がありそうですが、いずれにせよ、春遠からじ、というところでしょうか。

▼遠藤先生の奥様でいらつしやる順子夫人が、今年の一月十六日に身罷られました。九十三歳。天寿を全うされたといつていいでしょうか。ちなみに遠藤先生の享年は七十三です。

▼小生は今年で満七十八歳、傘寿間近で、遠藤先生よりは長分長生きしましたが、奥様の歳まではどうも……。

▼奥様とは、お宅へお邪魔したときにお茶を出していただく程度のお付き合いでしたが、先生が亡くなれば、文学館を建てることになり、あちこちの候補地を加藤宗哉さんと一緒に巡つたことを思い出します。最終的に、夕陽の美しい外海町の、自然のままの岬の突端に決めたのは順子さんです。▼しばらく行っていないので、今年はずひ行きたいと思っています。(颯)

## 「周作クラブ」第82号

2021年2月発行

■発行人 加賀 乙彦

■編集人 高橋千劍破

■副編集人 亀岡 園子

■編集部 一田佳希、大原雄、近藤恭弘、高木香織、南紀洋子、清水優子

■発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17 加藤宗哉事務所内「周作クラブ」

Eメール Shusaku\_club@yahoo.co.jp